

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成27年度 名古屋港新土砂処分場漁業影響検討業務
業 務 概 要	本業務は、名古屋港の新土砂処分場整備に伴う水産生物への影響評価を行うための現地調査（水質、底質、生物、漁業実態調査）並びに現地調査データを使用したシミュレーターの再現性について、学識経験者の指導、助言を踏まえて検討するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 中部地方整備局 副局長 海野 修司 愛知県名古屋市中区丸の内2-1-36 NUP・マザ丸の内ビル
契 約 年 月 日	平成27年 4月13日
契 約 業 者 名	平成27年度 名古屋港新土砂処分場漁業影響検討業務 いであ・全国水産技術者協会設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	名古屋市港区入船1-7-15
契 約 金 額	555,660,000円 (税込み)
予 定 価 格	556,164,604円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	伊勢湾
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	平成27年 4月13日
履 行 期 間 (至)	平成28年 3月31日
備 考	

随意契約理由書

1. 業務名 平成27年度 名古屋港新土砂処分場漁業影響検討業務

2. 選定理由

本業務は、名古屋港の新土砂処分場整備に伴う水産生物への影響評価を行うための現地調査（水質、底質、生物、流況、漁業実態調査）並びに現地調査データを使用したシミュレーターの再現性について、学識経験者の指導、助言を踏まえて検討を行うものである。

本業務の手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者の内で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定技術者の経験及び能力」「実施方針・実施フロー・工程表・その他」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、総合的に最も評価値が高位である「平成27年度名古屋港新土砂処分場漁業影響検討業務 いであ・全国水産技術者協会設計共同体」を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項並びに予算決算及び会計令第102条の4第3項の規定により、「平成27年度名古屋港新土砂処分場漁業影響検討業務 いであ・全国水産技術者協会設計共同体」と随意契約するものである。

